

学会発表

国際学会

1. Nakahara T. Current status and clinical management of atopic dermatitis in Japan
Xijing Skin Immunology Forum Aug 27, 2016
2. Kido-Nakahara M, Hachisuka J, Nakahara T, Furusyo N, Shimoda S, Koto K, Hayashi J, Koyamagi T, Furue M. Pruritus in Chronic Liver Disease: A Questionnaire Survey in 216 patients. The 4th Eastern Asia Deratology Congress 2016/11/16-18, Tokyo.
3. Tsuji G, Hachiya A, Oda M, Takemura M, Nakahara T, Uchi H, Furue M. AHR regulates FLG expression via OVOL1 in human keratinocytes: A plausible relationship between FLG and OVOL1 in atopic dermatitis. Asia-Pacific Combined Dermatology Research Conference 2016. 2016/8/25-28, Noosa, Australia
4. Esaki H, Brunner PM, Czarnowicki T, Rodriguez G, Immaneni S, Renert-Yuval Y, Suárez-Fariñas M, Krueger JG, Paller AS, Guttman-Yassky E. Early onset pediatric atopic dermatitis skin phenotype is Th2, but also Th17-polarized. Society for Investigative Dermatology 75th Annual Meeting. 2016/5/11-14, Scottsdale, USA
5. Ito T, Tsuji G, Ohno F, Nakahara T, Uchi H, Furue M. Potential role of the OVOL1-OVOL2 axis and c-Myc in the progression of cutaneous squamous cell carcinoma. The 11th Annual Meeting of Taiwanese Society Investigative Dermatology. 2016/11/12-13, Kaohsiung, Taiwan (ROC)
6. Ito T. The 17th Galderma Award Presentations by Award Winners and Award Ceremony. Acral lentiginous melanoma: Who benefits from sentinel lymph node biopsy? The 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology. 2016/12/9-11. Sendai, Miyagi, Japan
7. Matsui Y, Sugama J, Ishizawa M, Kamata N, Kawakami S, Kinoshita S, Sanada H, Nakagami G, Fukagawa S, Furue M, Miyachi T, Yokoo K. Location of severe medical device-related pressure ulcers by anti-embolism stockings and intermittent pneumatic compression devices in Japan, 5th World Union of Wound Healing Society, 2016/9/25-29, Florence, Italy
8. Masutaka Furue, Chikage Mitoma, Yusho and its latest findings; dioxin and its management, Plenary lecture, The 9th International PCB workshops, 2016/10/11, Kobe

国内学会

1. 古江増隆.アトピー性皮膚炎の痒みと最近の話題. 第24回九州アレルギー講習会 2016/2/20,福岡
2. 古江増隆.PCB類・ダイオキシン類による健康被害への治療対策. 第8回PCB講演会 2016/3/1,福岡
3. 古江増隆.私には治せない最重症アトピー性皮膚炎の1例. 第21回アトピー性皮膚炎治療研究会 2016/2/28,大宮
4. 古江増隆.アトピー性皮膚炎疾患感受性遺伝子OVOL1の役割. 第80回日本皮膚科学会東部支部学術大会 ランチョンセミナー 2016/10/29,浜松
5. 竹内聡,大場純奈,江崎仁一,古江増隆.アトピー性皮膚炎患者のかゆみの感じ方—潜在的外用ステロイド忌避及び重症度との関連からの解析—第46回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学. 2016/11/5,東京都
6. 竹内聡,大場純奈,江崎仁一,古江増隆. 外用ステロイド忌避と疾患重症度は、アトピー性皮膚炎におけるかゆみの知覚に影響する 第26回国際痒みシンポジウム. 2016/10/8,東京都
7. 竹内聡,木部珠里,裴成寛,岩崎菜保子,中尾匡孝,具嶋敏文,高橋和弘. 重症アルコール性肝炎患者に生じたスピロラクトンによる中毒性表皮壊死症(TEN)の一例. 第65回日本アレルギー学会学術大会 2016/6/17,東京都
8. 竹内聡. アトピー性皮膚炎外用療法に迫る～小児から成人までの最新のアプローチ～「成人のアトピー性皮膚炎の外用治療」. 第79回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会 2016/2/20,東京都
9. 内博史. 創傷治癒の最近の話題. 福岡地区皮膚科医会 2016/10/14, 福岡
10. 内博史. 悪性黒色腫と免疫チェックポイント阻害薬. 第10回「新しい医療」講演会. 2016/6/29, 福岡
11. 内博史. 悪性黒色腫治療の現況と展望. 福岡地区腫瘍免疫研究会. 2016/5/25, 福岡
12. 内博史. 顔面の悪性皮膚腫瘍—その診断と治療—. 第32回臨床皮膚科医会九州ブロック総会・学術講習会. 2016/5/22, 福岡
13. 内博史. トリプトファン誘導体の創傷治癒への効果. 第3回東京皮膚カンファレンス. 2016/3/19, 東京都
14. 中原剛士,古江増隆.Derma Live 4 アトピー性皮膚炎についていっしょに考えましょう 第32回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 2016/4/24,岡山
15. 中原剛士.ランチョンセミナー 患者視点からみたアトピー性皮膚炎治療—アトピー性皮膚炎患者は何に悩み、何を望んでいるのか—第115回日本皮膚科学会総会 2016/6/4,京都

16. 中原剛士. モーニングセミナー 分子標的薬による皮膚障害の病態とその対策
—皮膚科医が果たすべき新しい役割— 第 115 回日本皮膚科学会総会
2016/6/5,京都
17. 中原剛士.「シンポジウム 4 アトピー性皮膚炎の時間軸」小児期のアトピー性皮膚炎の時間軸 第 40 回日本小児皮膚科学会学術大会 2016/7/2,広島
18. 中原剛士,中原真希子,古江増隆. 起痒物質エンドセリン-1 が骨髄由来樹状細胞に与える影響の検討 第 26 回日本樹状細胞研究会 2016/9/2,熊本
19. 中原剛士.モーニングセミナー3 アトピー性皮膚炎、どう対処？ 第 46 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 2016/11/6,東京都
20. 中原真希子,蜂須賀淳一,中原剛士,古庄憲浩,下田慎治,古藤和浩,林純,小柳年正,古江増隆. 慢性肝疾患のかゆみの現状—慢性肝疾患患者 216 名に対するアンケート調査—. 第 46 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会.2016/11/2-3,東京都
21. 中原真希子.モーニングセミナー、アトピー性皮膚炎のメカニズムとその治療 第 115 回日本皮膚科学会総会 2016/6/3-5,京都
22. 中原真希子,蜂須賀淳一,中原剛士,古庄憲浩,下田慎治,古藤和浩,林純,小柳年正,古江増隆. 慢性肝疾患のかゆみの現状—慢性肝疾患患者 216 名に対するアンケート調査—. 第 26 回 国際痒みシンポジウム 2016/10/8,東京都
23. 中原真希子,蜂須賀淳一,中原剛士,古庄憲浩,下田慎治,古藤和浩,林純,小柳年正,古江増隆. 慢性肝疾患のかゆみの現状 第 65 回日本アレルギー学会学術大会 2016/6/17-19,東京都
24. 中原真希子. スイーツセミナー: かゆみのメカニズム(概説)と慢性肝疾患のかゆみの現状—慢性肝疾患患者 216 名に対するアンケート調査を含めて—. 第 68 回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2016/11/19-20, 米子
25. 原田佳代,松田知与,岡部倫子,高松紘子,占部和敬. 毛嚢炎様皮疹を伴う Multiple minute digitate hyperkeratosis の 1 例. 第 115 回日本皮膚科学会総会 2016/6/3-5,京都市
26. 原田佳代,松田知与,岡部倫子,高松紘子,占部和敬. 毛嚢炎様皮疹を伴う Multiple minute digitate hyperkeratosis の 1 例 . 第 31 回角化症研究会 2016/7/30,東京都
27. 原田佳代,前村紘美,木村七絵,高松紘子,占部和敬. 顔面に多発結節を形成し、無色菌糸症を考えた 1 例. 第 68 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2016/11/19-20,米子市
28. 伊藤絵里子,前川朋子,中原剛士,古村南夫,下村裕,古江増隆. LipaseH 遺伝子に変異を有する先天性縮毛症/乏毛症の一例 第 376 回日本皮膚科学会福岡地方会 2016/3/13,福岡市

29. 伊藤絵里子, 中原剛士, 古村南夫, 古江増隆. 教育講演 11 ジン、ジン、蕁麻疹
病理所見から見た慢性蕁麻疹—病理所見と治療反応性の相関について— 第
115 回日本皮膚科学会総会 2016/6/3-5, 京都
30. 辻学. *Microsporum canis* による体部白癬の 1 例 第 80 回九州真菌懇話会
2016/6/19, 宮崎
31. 辻学. 表皮細胞における Aryl Hydrocarbon Receptor signaling の制御機構につい
て 平成 28 年度全国油症班会議 2016/6/30, 福岡
32. 辻学, 八谷顕子, 竹村正規, 中原剛士, 内博史, 古江増隆. HDAC6 inhibition prevents
FICZ-induced AHR activation in normal human keratinocytes; treatment
possibility of skin damage associated with photo-aging. 第 17 回光老化研究会
2016/8/20-21, 神戸
33. 辻学. ヒト表皮細胞におけるプラチナ・パラジウムナノ粒子による AHR と NRF2 の
活性化について: 白斑治療における可能性 第 2 回白斑研究会総会
2016/9/25, 大阪
34. 辻学. 皮膚真菌症—九大皮膚科の症例より— 第 81 回九州真菌懇話会
2016/10/16, 宮崎
35. 工藤恭子, 坂本佳子, 増田亜希子, 古江増隆. 新規開設したこども病院における症
例の紹介. 第 377 回福岡地方会 2016/6/7, 久留米市
36. 伊東孝通. 皮膚腫瘍 第 349 回 九州沖縄スライドコンファレンス 2016/01/30,
北九州市
37. 伊東孝通, 内博史, 中原剛士, 辻学, 古江増隆. 頭部血管肉腫の生存解析 第 115
回 日本皮膚科学会総会 2016/06/03-05, 京都府
38. 伊東孝通, 孝橋賢一, 山田裕一, 岩崎健, 前川啓, 久田正昭, 古江増隆, 小田義直. 血
管肉腫における FOXM1 発現と治療ターゲットとしての可能性 第 105 回 日本
病理学会総会 2016/05/12-15, 仙台市
39. 伊東孝通, 辻学, 大野文嵩, 内博史, 中原剛士, 古江増隆. 毛髪に発現する新規転写
因子 OVOL1/2 の調節機構 第 34 回 美容皮膚科学会総会 2016/08/06-07, 東
京都
40. 杉山晃子, 西江温子, 古江増隆, 吉成元孝. 慢性蕁麻疹の病態と橋本病の治療と
の関連性. 第 115 回日本皮膚科学会総会 2016/6/3-5, 京都
41. 杉山晃子, 岸川禮子, 本莊哲, 福富友馬, 下田照文, 西江温子, 本村知華子, 田場直彦,
村上洋子, 岩田実穂子, 小田嶋博, 岩永知秋, 古江増隆. ブラジキニンが WDEIA の
発症に関与する可能性について. 第 65 回日本アレルギー学会総会 2016/6/17-
19, 東京都
42. 池田真希, 岩崎菜保子, 中尾匡孝, 竹内 聡. アセトアミノフェンによる急性汎発性
発疹性膿疱症を契機に発症した掌蹠膿疱症の 1 例. 第 115 回日本皮膚科学会

総会 2016/6/3-6/5,京都府

43. 見明彰,前田彩未,菊池智子,中川剛. 局所陰圧閉鎖療法により足趾切断を回避し得た糖尿病性足潰瘍の1例. 第 67 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 2016/10/22-23, 大阪
44. 中川理恵子,一木稔生,陣内駿一,幸田太,増田亜希子,溝手政博,古江増隆. 続発性乳房外 Paget 病の 2 例. 第 380 回福岡地方会 2016/3/,福岡市
45. 井上寛子,三苦千景,安河内由美,内博史,古江増隆. Merkel cell carcinoma radiation therapy 後に BCC が多発した 1 例. 2016/3/6,大分市
46. 井上寛子,安河内由美,内博史,中島健太郎,山田裕一,小田義直,永田寛,古江増隆. 小児の Epithelioid hemangioendothelioma の 1 例. 2016/5/28,鹿児島市
47. 佐々木誉詩子,内博史,古江増隆. 腹部脂肪吸引術後の脂肪塞栓により肺塞栓症を呈した 1 例. 第 379 回 日本皮膚科学会福岡地方会 2016/11/23,福岡市
48. 和田麻衣子,伊東孝通,安河内由美,中原剛士,三苦千景,内博史,古江増隆.放射線照射部位に生じた限局性 Sweet 病の 1 例. 第 115 回 日本皮膚科学会総会 2016/6/4-6, 横浜市
49. 和田麻衣子,中原真希子,河原紗穂,中原剛士,三苦千景,坂本佳子,工藤恭子,佐藤方宣,山田裕一,孝橋賢一,小田義直,内博史,古江増隆. 非ランゲルハンス細胞組織球症の 1 例. 第 40 回日本小児皮膚科学会学術大会 2016/7/2-3, 広島市
50. 村田真帆,安川晋輔,千葉貴人,幸田太. 肺癌皮膚転移の一例. 第 115 回日本皮膚科学会総会 2016/06/04, 京都市
51. 和田尚子,内博史,古江増隆. nivolumab の投与後に vemurafenib の投与を行い hypersensitivity reaction が認められた 1 例. 第 115 回日本皮膚科学会総会. 2016/6/3-5, 京都
52. 和田尚子,内博史,伊東孝通,桐生美磨,古江増隆. Digital papillary carcinoma の 1 例. 第 32 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会. 2016/5/27, 鹿児島
53. 和田尚子,内博史,北川徳子,古江増隆. chronic expanding hematoma を疑った schwannoma の 1 例. 第 31 回日本皮膚外科学会学術大会. 2016/9/10-11. 静岡.
54. 和田尚子,内博史,古江増隆. 免疫チェックポイント阻害薬による肝障害に MMF(ミコフェノール酸モフェチル)を使用した悪性黒色腫の 2 例. 第 54 回日本癌治療学会学術集会. 2016/10/20-22, 神奈川
55. 和田尚子,内博史,永江航之介,蘆田健二,古江増隆. 免疫チェックポイント阻害薬による下垂体性副腎不全 4 例のまとめ. 第 68 回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2016/11/19-20, 鳥取

56. 和田尚子,内博史,古江増隆. 神経線維腫症 I 型患者の diffuse plexiform neurofibroma に対し 3 回の減量術を行った 1 例. 第 8 回日本レックリングハウゼン病学会学術大会. 2016/12/4. 鳥取
57. 武信肇,竹下弘道. Wells 症候群の 1 例. 第 379 回福岡地方会 2016/11/23,福岡市増田亜希子,伊東孝通,木村容子,松村美幸,桐生美麿,古江増隆.増殖性外毛根鞘囊腫由来と考えられた有棘細胞癌の 1 例. 日本皮膚科学会第 376 回福岡地方会 2016/03/13,福岡市
58. 増田亜希子,工藤恭子,坂本佳子,古江増隆.グルコン酸カルシウムの血管外漏出により生じた石灰沈着症の新生児例. 第 40 回日本小児皮膚科学会学術大会 2016/07/02,広島市
59. 増田亜希子,工藤恭子,坂本佳子,金澤伸雄,古江増隆. 紫外線療法が著効した角層下膿疱症の幼児例. 第 68 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2016/11/20,米子市
60. 前田彩未,見明彰,菊池智子,大野博文,石井文人,橋本隆. 難治性口腔内潰瘍を認め腫瘍随伴性天疱瘡が疑われた 1 例. 福岡地方会 2016/3/13, 福岡
61. 木村七絵, 前村紘美, 高松紘子, 原田佳代, 占部和敬. 汎発性の白斑を生じた Vogt-小柳-原田病の一例. 第 377 回日本皮膚科学会福岡地方会 2016/6/26, 久留米市
62. 木村七絵,前村紘美,高松紘子,原田佳代,占部和敬. 汎発性単純性疱疹の一例. 第 379 回日本皮膚科学会福岡地方会 2016/11/23,福岡市
63. 前原恵里子,伊東孝通,辻学,前川朋子,安河内由美,溝手政博,内博史,古江増隆. 先天性色素性母斑に合併した悪性黒色腫の 2 例 ~IMP3 免疫染色を用いた検討~.第 115 回日本皮膚科学会総会 2016/6/3-5.京都
64. 前原恵里子,三苦千景,辻学,伊東孝通,内博史,古江増隆,上里梓. 乳房部分切除後に生じた乳房血管肉腫の 1 例 ~体幹血管肉腫についての検討~.第 67 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 2016/10/22-23.大阪
65. 陣内駿一,末永亜紗子,村田真帆,中尾匡孝,千葉貴人,幸田太,古江増隆. Wolf's isotopic response と考えられる帯状疱疹後光沢苔癬の一例. 日本皮膚科学会第 115 回総会 2016/6/3-5, 京都陣内駿一,末永亜紗子,村田真帆,千葉貴人,幸田太,桐生美麿,古江増隆. Bevacizumab が原因と疑われた下腿潰瘍の 2 例. 第 68 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2016/11/19, 米子市
66. 中家理紗,和田麻衣子,森岡友佳,河原紗穂,辻学,中原剛士,内博史,古江増隆,石井文人,橋本隆. 後天性表皮水疱症の 1 例.第 68 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2016/11/19,米子市

67. 江藤綾桂,中村美沙,伊藤さおり,田中摩弥,辻学,松田哲男,古江増隆.皮膚
M.chelonae 感染症の一例と本邦報告例の検討 第 115 回皮膚科学会総会
2016/6/4,京都
68. 江藤綾桂,中尾匡孝,古江増隆.下肢に多発・拡大したサルコイドーシス症の一例
第 379 回皮膚科学会福岡地方会 2016/11/23,福岡
69. 小野山恵,矢野可久子,原田起代枝,権藤多栄,濱田正美,古江増隆.終末期に急性
増悪した褥瘡への多職種介入によるケア 第 13 回日本褥瘡学会九州・沖縄地
方会学術集会 2016/4/29,佐賀市
70. 福家辰樹,川田康介,中原剛士,室田浩之,荒川浩一,片山一郎. 小児アトピー性皮
膚炎の治療ゴールに関する医師への意識調査 第 53 回日本小児アレルギー学
会 2016/10/8, 群馬
71. 松田和嘉子,膳所菜保子,池田真希,佐竹真理恵,吉澤誠司,竹内聡. 未治療の
Sjögren 症候群と MCTD を合併した帯状疱疹患者に生じた無菌性髄膜炎の一例.
第 379 回日本皮膚科学会福岡地方会 2016/2/2,福岡市